【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立伊岐佐小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上～ラーニングマウンテンの実践を通して、個別最適な学びと協働的な学びを深化させ、学習調整しながら学びに向かう児童を育成する。 ・心の教育～自他を大切に、違いを認め合う心を育む。 ・健康体づくり～日頃の規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）の励行と学期スタートに行う生活習慣100点運動を生かして健康な体になるように取り組む。 ・業務改善～業務内容の軽重を考え、限られた時間でどのように仕事をしていくのか考えながら働く。 ・特別支援教育～専門性を高め、児童の実態に応じた支援体制を整えていく。
2 学校教育目標	確かな学力、豊かな心、健やかな体 ～知・徳・体のバランスのとれた力をはぐくむ～
3 本年度の重点目標	「すべては子どもの笑顔のために」学校、保護者、地域が一体となって、子どもの笑顔づくりのために、「ファミリー伊岐佐」として取り組んでいく。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
(1)共通評価項目											
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ラーニングマウンテン	●「粘り強く学習に取り組み、学習調整 することができた。」の質問に対しての肯 定的な回答した児童80%以上	・教科の資質・能力や系統性を考えた学 習課題の共通理解 ・授業公開(相互参観)による授業改善 ・日常的なタブレットの利活用								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する 心、他者への思いやりや社会性、倫理 観や正義感、感動する心など、豊かな心 を身に付ける教育活動	○道徳の授業において、①自分ごとと して②多面的・多角的なふりかえりをして いる児童75%(振り返り分析)	・互いの考えを深められるような発問と 交流活動の工夫 ・職員研修において、道徳の価値内容を 自分ごととして考え、多面的・多角的に 考える指導法の共通理解								
	●いじめの早期発見、早期対応に向け た取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ の防止等のための取組、事案対処等) について組織的対応ができていると回 答した教員90%以上	・「いじめアンケート」(年2回)の実施 ・「こころのアンケート」(定期的)とQ-U テストの実施 ・子どもの困り感に寄り添う児童理解研 修会の実施								
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実 現に向けて意欲的に取り組もうとするた めの教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてく れていると思う」と回答した児童85%以 上 ●「将来の夢や目標を持っている」につ いて肯定的な回答をした児童85%以上	・「出番、役割、承認」のある教育活動の 計画的な実施 ・目的意識をもち、ふるさとを大切に思 う態度を育てる地域学習の実施								
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能 力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」 ⑤「健康を考えて行動できる能力の育 成」	②学期に1回「生活習慣100点運動」を 実施し、100点達成する児童の割合が 90%以上を目指す。	・「生活習慣100点運動」の学期1回(5月 9月1月)の取組みと学校便り、学級通信 等での発信 ・SNS等の使用についてアンケート調査 の実施及び情報教育講演会の実施 ・発達段階に応じた保健指導(虫歯予防 や感染症予防等)を実施し、日頃の生活 で実践しようとする態度を育てる。								
●業務改善・教職員の働き方 改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時 間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校 等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1 人当たりの年次休暇の取得日数14日 以上	・定時退勤日の設定 ・チームを利活用し、職員同士の伝達 や情報の共有化 ・職員会議資料の電子化、資料の事前配付 や時間設定による職員会議45分以内の徹 底								
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性 と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上 したと回答した教員90%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情 報共有								
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)									
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)									
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育											
5 総合評価・ 次年度への展望											